

「自民党憲法改正草案」の多角的検討

——日本の憲法政治の行方——

主催：国際基督教大学平和研究所

【趣旨】 本年7月10日に行われた参院選において、政権担当党の自民党と公明党が、それぞれ改選議席を増やした。自民党は56議席で前回よりも6議席増となり、また公明党も14議席で前回よりも5議席増となった。その結果、参院総議席における改憲勢力は自公両党におおさか維新とこころの二党を合わせ、さらに諸派と無所属の改憲派議員を加えると165議席となり、改憲勢力は「三分の二」（162議席）を超え、国会全体でも憲法改正を国民投票で問うことのできる「三分の二」以上の議席を確保したことになる。いよいよ、日本の政治は、いわゆる「憲法政治」——国政の基本法・統治構造・基本政策の是非を国民的規模で根本的に見直し審議し決定しようとする非常時型（百年に一度あるかないかの）政治——のピークとなる季節を迎えている。

こうした折、2012年4月に提出された「自民党憲法改正草案」がますます注目されるようになった。本シンポジウムでは、わが国の憲法学をリードしてこられた研究者の皆様をお招きし、多角的な観点からこの「草案」を検討し吟味するシンポジウムの開催を計画した。ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

日時： 10月25日(火) 15:10～17:40

会場：国際基督教大学 本館315室（予約不要）

【プログラム】

- 挨拶 笹尾 敏明（平和研究所所長）
- ＜第一部＞ 基調講演1 山内 敏弘（一橋大学名誉教授）
「天皇を戴く軍事国家か、個人を尊重する平和国家か」
- 基調講演2 志田 陽子（武蔵野美術大学教授）
「歴史と向き合う憲法か、歴史から逃げる憲法か：
統治構造と人権の両面で生じる基盤の変質」
- プラス 歌唱
- （休憩）
- ＜第二部＞ パネルディスカッション、フロアーとの意見交換
司会 千葉 眞（国際基督教大学特任教授）
山内 敏弘
志田 陽子
松平 徳仁（神奈川大学教授）
稲 正樹（平和研究所顧問、前国際基督教大学教授）

連絡先：181-8585 三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学平和研究所

電話：0422-33-3187 Email: icupri@icu.ac.jp